

令和7年度 学校評価報告書1 (計画段階 ・ 実施段階)

学校名		福岡市立福翔高等学校		学校経営方針・学校教育方針		今年度の重点目標		評価（総合）	
学校長	ふりがな	やまだ たかふみ	氏 名	山田 耕史	【目指す学校像】 来てよかった 働けてよかったと思える学校 【目指す生徒像】 学習活動や部活動などの様々な体験活動を通して、 変化の激しい新しい時代をしなやかに生きていくことができる生徒 【目指す職員室像】 「話しやすさ」「助け合い」「認め合い」「チャレンジしやすさ」を福翔スタンダードとし、心理的安全性が確保された職員室 【教育目標】 ○自己理解を深め、将来の目標を定め、個性の伸長と目標実現に向けて主体的に活動できる生徒の育成 ○課題を見つけ、自ら考え、他者と協働して課題解決に取り組むことができる生徒の育成 ○生涯にわたって豊かに生きるために学びを深め続けていくことができる生徒の育成	○創立125周年の歴史を踏まえ、新しい学校づくりに向けて自覚と責任を持ち、一層の学校活性化を図る。 ○生徒一人ひとりの希望に合わせた進路実現のため、系統的な指導方法を確立する。 ○「産業社会と人間」の時間を活用しキャリア教育を推進するとともに、「総合的な探究の時間」を活用し、課題を発見し解決することができる課題解決力を育成する。 ○部活動や学校行事などに主体的に参加し、自分の役割を見つけ、仲間と協働できる人材を育成する。 ○いじめや不適切な指導のない安全で安心な学校づくりを推進する。 ○教育相談を核とした生徒相談活動の充実とSCやSSWとの連携による支援体制の充実を図る。 ○一人ひとりを大切にすることができる人権感覚を育成する。 ○不祥事防止や働き方改革に向けて風通しの良い職場環境づくりを推進する。	学校自己評価	学校関係者評価	
	校長本校在校年数	1年							
学校関係者 評価委員会 委員長	ふりがな	かわぐち みよじ	氏 名	川口 三代次					
	氏 名								

昨年度の成果と課題	【成果】ホームページのリニューアルにより、発信内容がわかりやすく興味をひくものになっている。さらなる内容の充実が期待される。 【課題】高校入試の特色化選抜において、入試の方法や内容について検討が必要であると同時に、入学後の追跡調査などを行い、指導の改善に努める。
-----------	--

目標及び具体的な方策等		学校自己評価			取組状況・成果・課題		学校関係者評価		学校関係者評価委員会からの意見等		今後に向けての方針・改善点	
評価項目	目標											
教育課程・学習指導	特色化選抜を見直し、一層の学校の魅力化と活性化を図る。	特色化選抜入試について、これまでの結果を検証し、よりよい選抜方法となるようにさらなる検討を行う。 特色化選抜入学者の個性・特性を伸ばし、キャリア形成につなげていけるよう系統的かつ継続的な指導体制を確立させる。										
	特別な支援が必要な生徒へ適切な対応ができるよう校内運用体制の整備を進めていく。	特別な支援が必要な生徒への対応について、共通理解を図り、遠隔授業（リモート）に対応できるスキルの向上を行う。 特別な支援が必要な生徒の学びを保証するために、初期段階から支援が必要な生徒への運用や学習評価の共通理解など校内運用体制を確立する。										
生徒指導	生徒の規範意識の向上を図る。	学校全体で生徒の規範意識の向上を図るために、ヘルメット着用・登下校・駐輪・交通ルール順守に対する指導を生徒会専門委員会が主体的に行えるよう定期的に支援する。 授業規律・施設使用規定・挨拶など社会生活に必要な生活習慣をより良い方向に育成できるよう、生徒集会を定期的に行う。										
	より良い人間関係を構築できる道徳心を育成する。	学級や部活動において自己肯定感が向上するような集団作りを推進することができるよう、生徒だけでなく職員用クラスルーム等に啓発文などを定期的に配信する。 生徒たちがより良い人間関係を構築できるよう、いじめ防止・人権意識の向上などの取り組みを生徒会専門委員会と協力して実施する。										
	生徒一人一人の進路保障を目指し、適切な指導・助言を行う。	生徒の希望進路実現ができる学力や技能を身に付けさせるために、生徒の進路希望調査や模試結果など多様な資料を活用しながら課外や補習を計画する。 年内入試の増加に伴い、小論文や面接に対応できる力を身につけるためにガイダンスを継続的に実施する。										
進路指導	生徒・教師・保護者間に向けた進路情報を提供する。	職員研修やICTを活用して最新の入試動向を意識した進路指導を実施する。 生徒の進路実現につなげるために、スタディサプリなどのICTソフトを活用し、保護者や生徒向けの情報発信を積極的に行う。										
	福翔高校の魅力を高め、様々な取組について、積極的に外部に広報していく。	中学校訪問や学校訪問、体験入学で福翔高校におけるDX教育、キャリア教育、部活動等の取組や実績について伝える。 学校HP、Instagram等を活用して福翔高校のイベントや部活動の近況等について、中学生・保護者に継続的に発信する。 「総合的な探究の時間」におけるカリキュラムマネジメントを行い、DX教育の基礎である理数・データサイエンス・AIの要素を導入して充実を図る。 DXハイスクール推進事業を活用し、デジタル機器の一層の充実や先達校視察などを通じて授業等におけるデジタル活用について調査・研究を行う。										
学校改革	DXハイスクールの取り組みを発展させ、探究的学びの充実などさまざまな場面で活用できるようにする。											

※ 学校自己評価は、5段階評価(A…目標を大幅に上回る達成度、B…目標を上回る達成度、C…目標どおりの達成度、D…目標を下回る達成度、E…目標を大幅に下回る達成度)で成果や取り組み状況等について記入すること。

※ 学校関係者評価は、学校自己評価について5段階評価(A～E)で評価すること。